

2026 年 1 月 23 日

各 位

株式会社北洋銀行

「北洋銀行資産運用サービス ゴール・サポーター」の 取扱開始について

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、2026 年 1 月 26 日(月)より、三菱 UFJ 信託銀行株式会社(取締役社長 窪田 博)を投資一任業者とする「北洋銀行資産運用サービス ゴール・サポーター」の取扱いを開始いたします。

本サービスは、お客さまの資産運用の目的やリスク許容度に合わせて、投資信託を組み合わせたポートフォリオをご提案し、運用・管理を行う包括的なサービスです。当行は、三菱 UFJ 信託銀行株式会社と提携のうえでご提供いたします。当行は今後も、お客さまの多様なニーズにお応えし、利便性向上とサービス充実に努めてまいります。

記

1. サービス概要

サービス名	北洋銀行資産運用サービス ゴール・サポーター
契約対象	個人のお客さま
契約期間	1 年～50 年
運用レベル	期待リターンおよびリスク水準に応じて、5 段階（レベル 1～5）に分類
投資対象	国内公募投資信託（ゴール・サポート・ファンド） ※本サービス専用に設定された投資信託の中で、投資一任業者が運用レベルに応じて最適と考える 1 本の投資信託へ投資を行う。
契約可能件数	お客さまごとに最大 10 契約まで（ゴール 1 つに対し 1 契約）
当初契約金額	【一括投資】 300 万円以上 1 円単位 【積立投資】 1 万円以上 1 円単位 ※積立投資申込は、一括投資申込先のみ可 【定時定額引出】 1 万円以上 1 円単位
利用口座	当行投資信託口座（NISA 口座利用可）
運用コース	以下の 4 種類の運用コースから選択可能 ①据置、②積立、③据置・引出、④積立・据置・引出

2. 本サービスのスキーム

- (1)お客さまは、当行のアドバイザーを通じて投資一任業者である三菱 UFJ 信託銀行株式会社と投資一任契約※を締結していただきます(当行は投資一任契約締結の媒介を行います)。

※投資一任契約とは、投資運用業を行う金融商品取引業者等がお客さまから有価証券の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき、お客さまのため投資を行うのに必要な権限を委任されることを内容とする契約のことを指します。

- (2)三菱 UFJ 信託銀行株式会社は、当行のアドバイザーを通じ、資産運用プランの策定ならびにゴールの実現に向けた継続的なアフターフォローを行います。

以 上



GOAL



SU ORTER

北洋銀行 資産運用サービス  ゴール・サポーター 

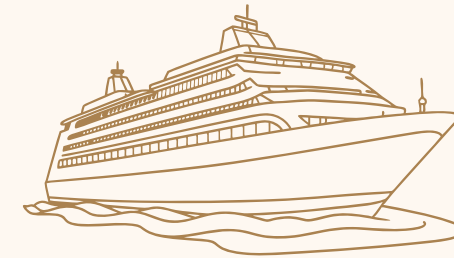


かなえたい夢がある。かなえられる夢がある

歩む人生、かなえたい夢や目標はひとそれぞれ。
その実現をサポートしてくれるのが「資産運用」

誰でも手軽に資産運用を始められるようになったからこそ、
あなたにあった資産運用をお届けしたい。

そのような思いから生まれたのが、
北洋銀行資産運用サービス
「**ゴール・サポーター**」です。



GOAL
SU  ORTER

「ゴール・サポーター」は、資産運用の力で、
みなさまの夢をかなえるパートナーです。

ゴール・サポーターの4ステップ



ゴール・サポーターは、ゴールベースアプローチを採用しています。ゴールベースアプローチとは、夢や目標の実現をサポートするため、資産を運用・進捗管理していく手法です。定期的なレビューを通じて、ゴール^{*}達成に向けた進捗状況をご報告するとともに、アドバイスを通じてお客さまに伴走いたします。

※ここでのゴールとは、お客さまの夢や目標をいいます。

PROFILING

STEP1 プロファイリング

お客さまのご意向をお伺いし、ゴールを設定

お客さまの資産運用に対するお考えや実現したい目標をお伺いし、お客さまの資産運用のゴールを設定いたします。



ゴール・サポーターは、夢をかなえるための最適な資産運用を提供するため、4つのステップをし、ゴール達成まで継続的にサポートいたします。

PLANNING

STEP2 プランニング

達成に向けたプラン策定

夢や目標を実現するため、お客さまオリジナルの資産運用プランを作成・提案いたします。



REVIEW

STEP4 レビュー

進捗状況のご報告とプランの見直し

定期的なご面談を通じて、ゴール達成に向けた進捗状況をご報告いたします。また、お客さまのお考えに合わせた資産運用プランの見直しも行います。



ACTION

STEP3 アクション

ゴール達成をサポートする資産運用

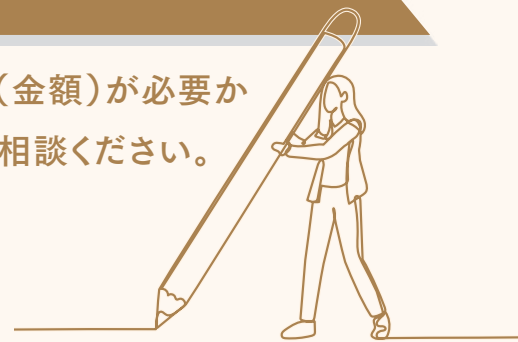
プランニングをもとに、夢の実現に最適な資産運用を実施いたします。リバランスも含め、運用はすべて専門家にお任せできます。



STEP1

プロファイリング

何のために(夢・目標)、いつまでに(期間)、どれくらいのお金(金額)が必要かをお伺いいたします。やりたいこと、かなえたい夢…なんでもご相談ください。



▶ かなえたい夢、実現しませんか？

老後の安心を見据えた
有料老人ホーム

目標2,000万円

結婚式・教育費など
子どもや孫の
未来を応援

目標500万円

暮らしをアップデート
住宅
リフォーム

目標800万円

憧れの景色と
美しい時間に包まれる
海外旅行

目標500万円

ずっと胸に
抱いていた
憧れの趣味

目標1,000万円

※上記に記載の金額は、例示を目的とするものであり、実際の金額とは異なります。
※上記の写真はイメージです。

Column

ゆとりあるセカンドライフにはインフレ対策も大切



かなえたい夢を実現するには、日々の生活が安定していることが大切です。セカンドライフは公的年金が収入の中心となりますが、それだけではゆとりある生活を送るには十分とは言えません。現状、食料品など生活必需品に加え、レジャー費用も上昇を続けています。こうした環境下では、資産運用によるインフレ対策を継続していく必要があります。

夫婦で
20年間

ゆとりあるセカンドライフを送ることを考えると
総額2,800万円が不足

老後の収入※
(主として公的年金)

約26.1万円/月

夫婦でのゆとりある
老後の1か月の生活費

平均37.9万円/月

1か月のおおよその不足額

約11.8万円/月

(出所)総務省統計局「家計調査報告(家計収支編)―2024年(令和6年)―」

(出所)公益財団法人 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」令和4年度

※2人以上の世帯のうち無職世代の家計収支1世帯当たり1か月平均(平均世帯人員:2.33人、世帯主の平均年齢75.4歳)

STEP2

プランニング

運用期間や目標金額に応じた適切なプランをご提案いたします。

▶ お客さまオリジナルの資産運用プランを作成

コンサルティングツール「フロントソリューション」を使用し、お客さまにあった資産運用プランをご提案します。



目標とご資金

ゴール時の資金残高

2,000 万円

当初ご投資金額

1,000 万円

お客さまの金融資産に占める当初ご投資金額の割合

30%以上、50%未満

運用期間

運用開始想定月

2026年1月

運用期間

25 年 0 か月

運用終了 2050年12月

運用開始

2026年1月

ゴール

2050年12月

据置25年

運用レベル

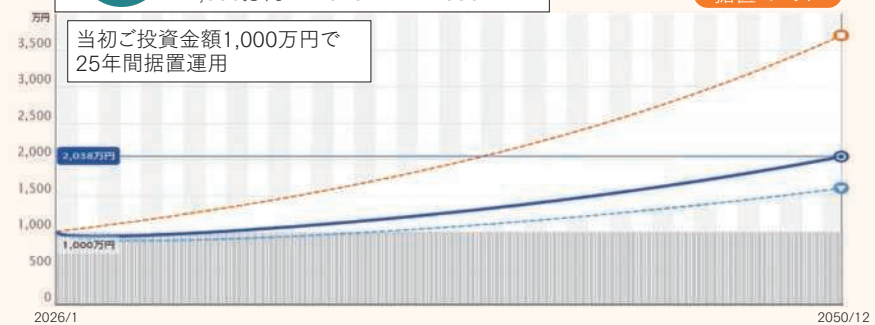
1 2 3 4 5

低リスク・低リターン

高リスク・高リターン

ゆとりあるセカンドライフ
目標金額 運用開始 ゴール予定
2,000万円 2026/1 2050/12

当初ご投資金額1,000万円で
25年間据置運用



ゴール時の予想資産残高

● 目標※
2,038万円
○ 50%の確率で
3,715万円以上
● 90%の確率で
1,603万円以上
||| 運用なし
1,000万円

※「目標」は、達成確率を用いたシミュレーションにて算出した「ゴール時の予想資産残高」です。達成確率を整数(小数点以下切り捨て)にしているため、「目標(ゴール時の予想資産残高)」が「目標金額」をやや上回る場合があります。

一括投資に「積立投資」をプラス

積立投資を組み合わせることで、時間分散効果をプラス。全額を一括投資する場合と比べ、資産全体の値動きを抑えた運用が期待できます。

セカンドライフで趣味に使うお金
目標金額 運用開始 ゴール予定
1,000万円 2026/1 2045/12

当初ご投資金額300万円に加えて、毎月2万円ずつ15年間積立投資



ゴール時の予想資産残高

● 目標※
1,008万円
○ 50%の確率で
1,186万円以上
● 90%の確率で
760万円以上
||| 運用なし
660万円

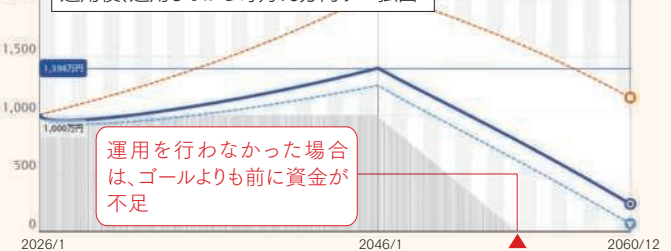
上記のイメージは、実際のコンサルティングツール「フロントソリューション」の画面仕様とは異なります。
(出所)QUICK

運用しながら「定時定額引出」

運用しながら資産の一部を引出すことが可能です。貯蓄からの引出しと比べ、資産寿命の延命が期待できます。

公的年金の補完
目標金額 運用開始 ゴール予定
200万円 2026/1 2060/12

当初ご投資金額1,000万円で20年間据置運用後、運用しながら毎月10万円ずつ払出



ゴール時の予想資産残高

● 目標※
225万円
○ 50%の確率で
1,139万円以上
● 90%の確率で
55万円以上

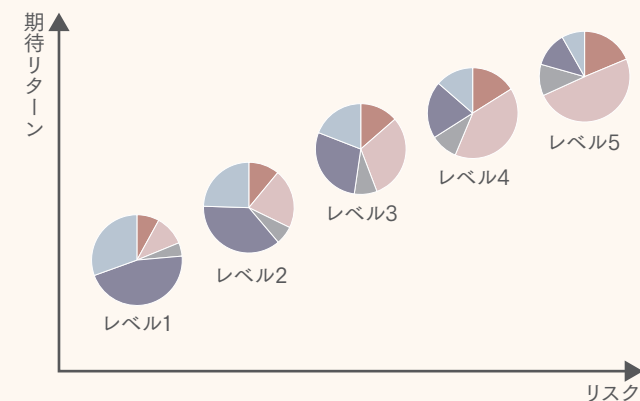


お客さまの資産運用プランに合わせた最適な運用を実施いたします。

ゴール達成に適した運用の実施

値動きの大きさの異なる5つの運用レベルに応じたポートフォリオ※の中からお客さまに最適なポートフォリオを選定します。

ゴール達成に適した5つの運用レベル



上記は、各運用レベルについて、期待リターンおよびリスクの大小の相対的な関係を示したものです。

※ポートフォリオとは、資産運用における金融商品の組み合わせのこと。株式、債券やその他資産を複数組み合わせることで、リスクを分散し、安定的なリターンを目指します。

各運用レベルのリスク・リターンと基本資産配分

期待リターン・リスク

運用レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
期待リターン	2.4%	3.6%	4.7%	5.7%	6.7%
リスク	6.0%	8.0%	10.0%	12.0%	14.0%

基本資産配分

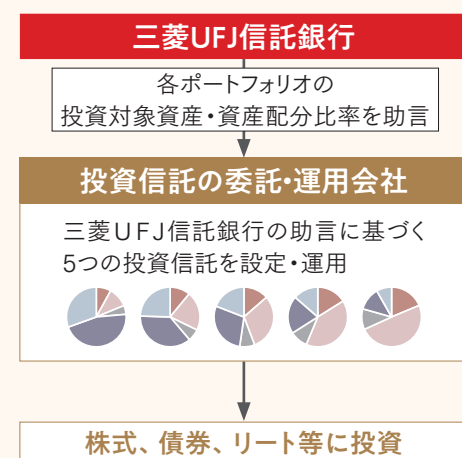
投資対象資産	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
国内株式	8%	11%	14%	16%	19%
外国株式	11%	21%	31%	40%	50%
国内リート	5%	7%	8%	10%	11%
国内債券	46%	37%	29%	20%	12%
外国債券	31%	25%	19%	14%	8%

「期待リターン・リスク」はともに、年率値。
小数点以下の扱いにより、合計値が100%にならない場合があります。
期待リターン・リスクは基本資産配分を基にした数値であり、また期待リターンは信託報酬控除後の想定値となります。実際の運用成果を保証するものではありません。期待リターンおよびリスクは、マーケットの状況等により変わる可能性があります。上記の各運用レベルの期待リターン・リスクと基本資産配分は作成基準日現在のものであり、今後変更される場合があります。

三菱UFJ信託銀行が助言する投資信託による運用

当サービスが投資対象とする投資信託は、企業年金等の運用で実績のある三菱UFJ信託銀行が投資対象資産・資産配分比率について助言を行う1本のバランスファンドです。

投資信託の設定・運用のイメージ



三菱UFJ信託銀行のご紹介

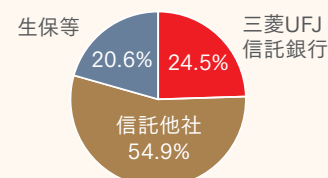


三菱UFJ信託銀行は企業年金のメインプレーヤーとして、21.2兆円(2025年3月末現在)の企業年金受託残高を有しており、長年培ってきた高い専門性で、多種多様な資産運用ニーズにお応えしております。

確定給付型企業年金のマーケットシェア

日本の確定給付型の企業年金資産は2025年3月末現在86.3兆円超ですが、**三菱UFJ信託銀行は、全体の24.5%**の資産をお預かりしております。

(出所)一般社団法人信託協会の統計資料より作成

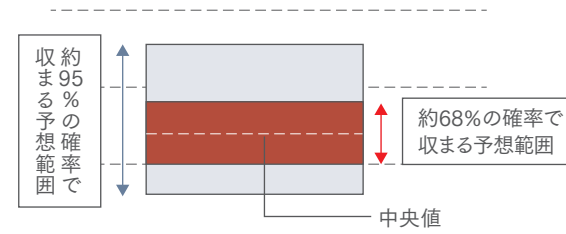


5つの運用レベルのリスクとリターンの関係

下のグラフは、5つの運用レベルの期待リターンとリスクを基にした将来シミュレーションです。各運用レベルの1年後、5年後の推計評価額をもとに値動きの大きさをご確認ください。

グラフの見方

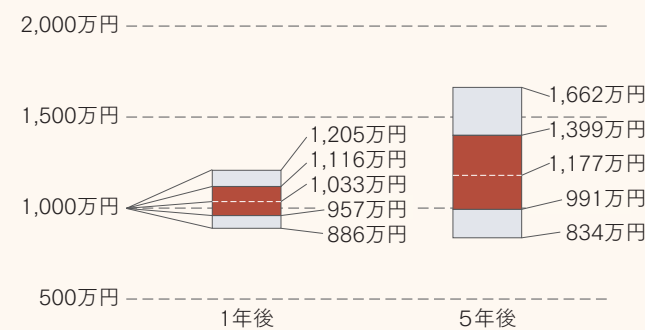
- 赤色の範囲は統計的に約68%の確率で収まる範囲
- グレーの範囲(赤色を含む)は統計的に約95%の確率で収まる範囲
- 中央値は「将来における運用資産」がその金額を上回る確率が50%、下回る確率が50%であると推計される水準



レベル2

期待リターン	リスク
3.6%	8.0%

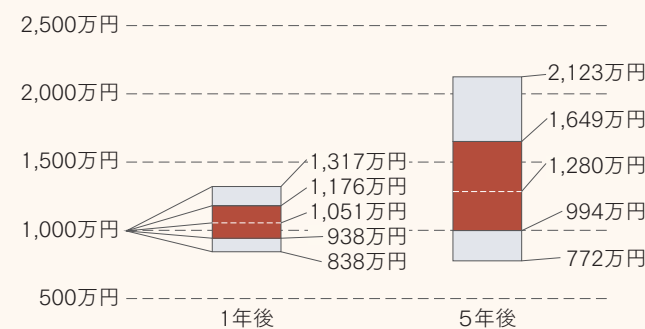
ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計



レベル4

期待リターン	リスク
5.7%	12.0%

ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計



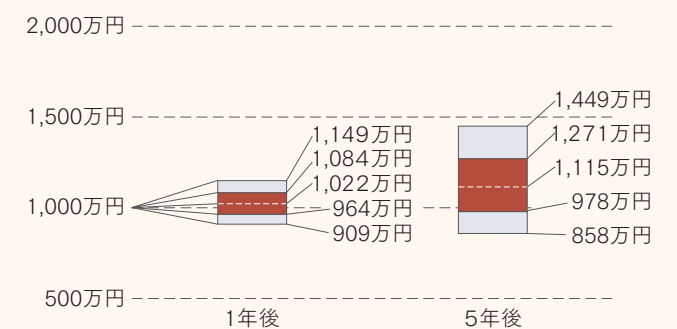
■ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計について

本グラフは、現在の資産額を1,000万円とした場合の将来の資産額予想分布を示したもので、各運用レベルの基本資産配分における期待リターンとリスクに基づき推計したものです。また、期待リターンは信託報酬控除後の想定値となります。本グラフはあくまで推計によるもので、実際の評価額がこのグラフの範囲に収まる保証はなく、また、実際の運用成果を保証するものではありません。

レベル1

期待リターン	リスク
2.4%	6.0%

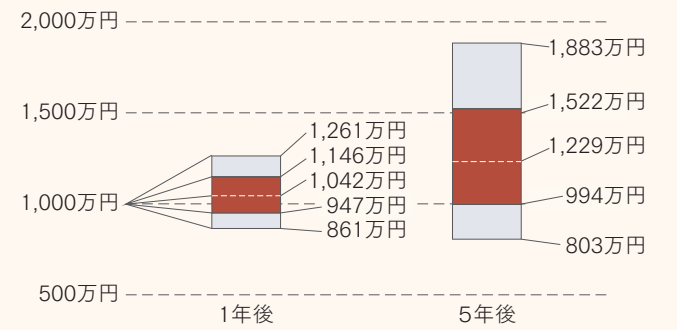
ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計



レベル3

期待リターン	リスク
4.7%	10.0%

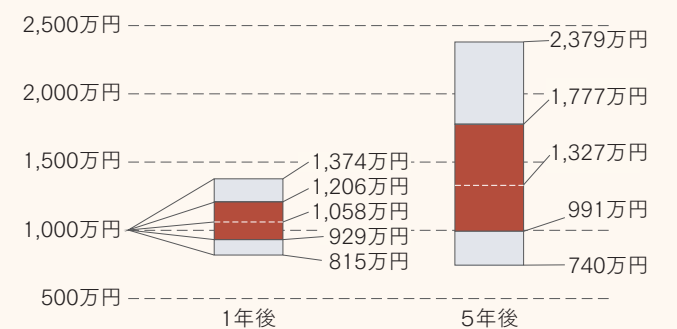
ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計



レベル5

期待リターン	リスク
6.7%	14.0%

ご契約金額を1,000万円とした場合の将来の評価額の推計





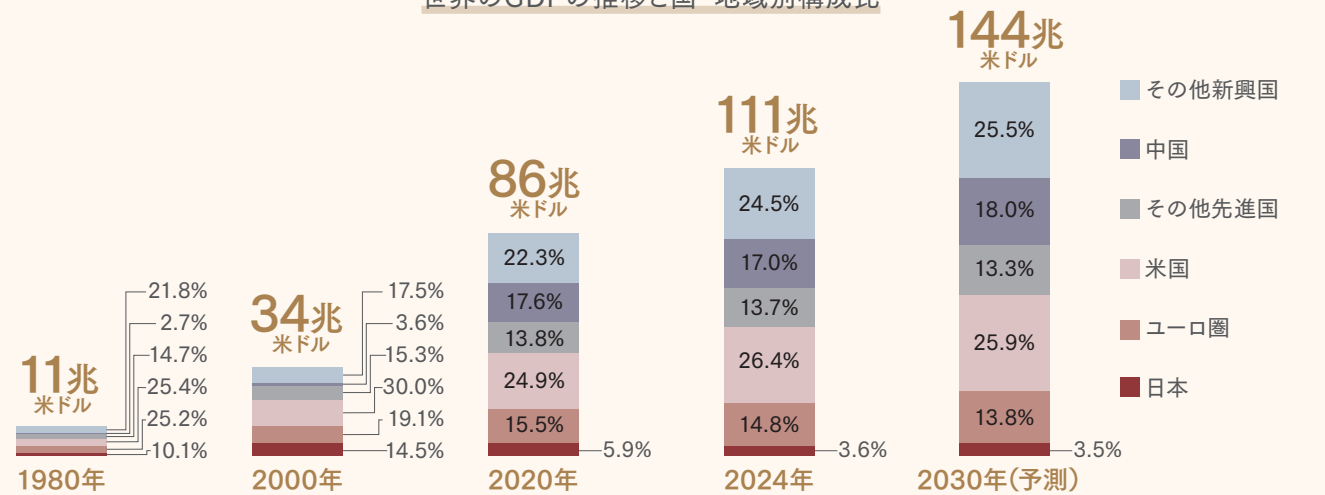
夢をかなえる鍵は『世界経済の成長』と『長期分散投資』

ゴール・サポーターは、お客さまの夢を実現するためにさまざまな地域・資産への分散投資を行い、世界経済の成長を取り込みます。また、長期にわたって運用を継続いただくことで、安定的な運用成果が期待できます。

拡大する世界経済の恩恵を享受

世界経済に目を向けるとGDPは長期にわたり拡大してきました。今後も世界経済の成長は続くと考えられています。

世界のGDPの推移と国・地域別構成比



※一部の国・地域は、資料作成時点でゴール・サポーターの投資対象ではございません。

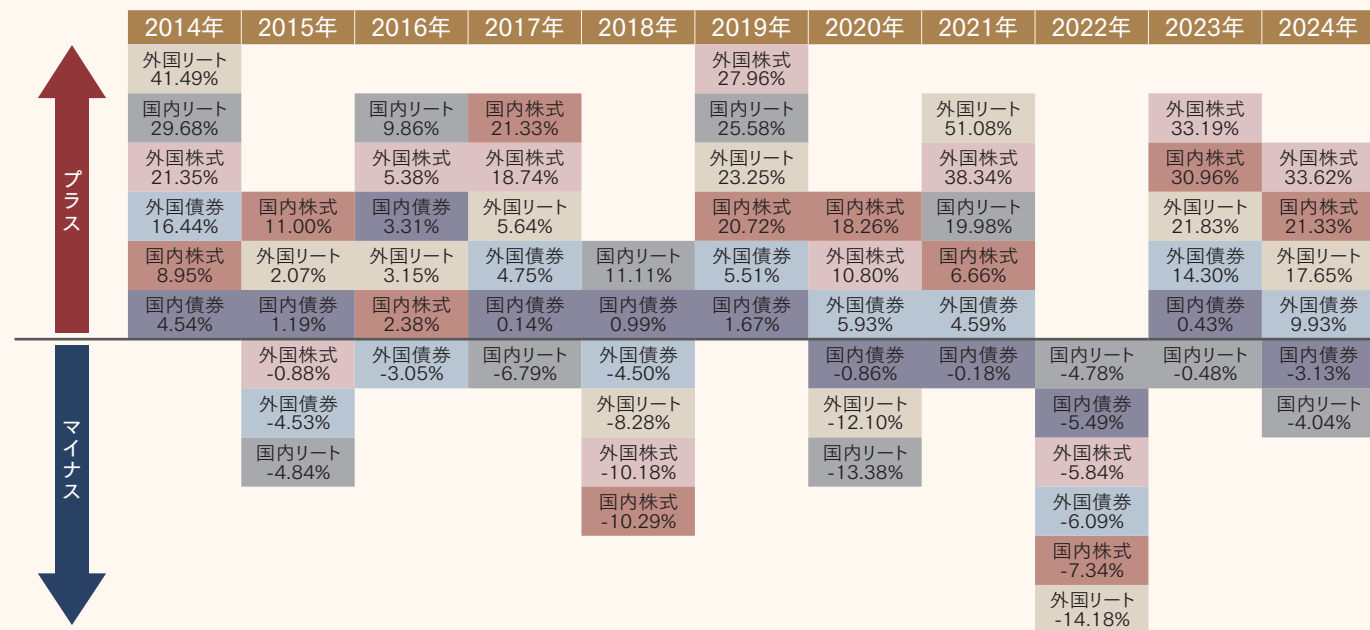
GDPは名目値
(出所)IMFデータを基に三菱UFJ信託銀行作成

分散投資でリスクを抑制

過去10年をみると、好調な資産は毎年入れ替わっており予想することは困難です。さまざまな資産に分散して投資することでリスクの抑制が期待できます。

各資産の年間騰落率(円ベース)

期間:2014年~2024年、暦年



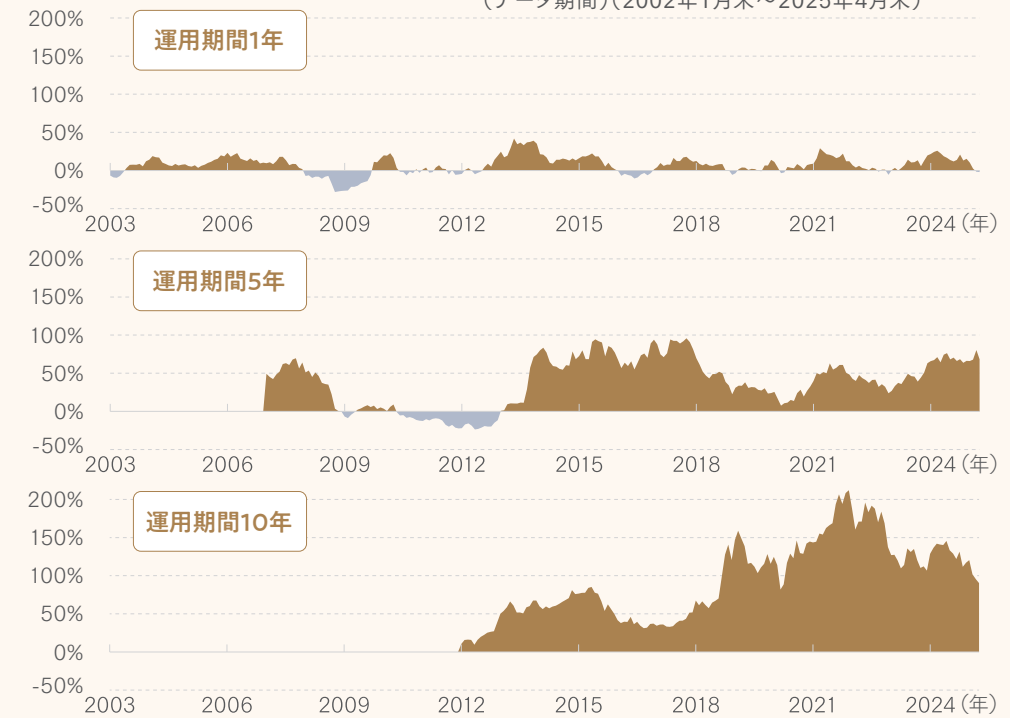
※「外国リート」は、資料作成時点でゴール・サポーターの投資対象ではございません。
使用した指数については、19ページの「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ信託銀行作成

長期投資で投資成果が元本を上回る割合が上昇

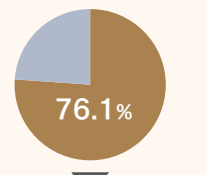
長期間保有することで投資成果が元本を上回る割合が上昇します。
目先の値動きに一喜一憂することなく、安定した運用成果の積み上げが期待できます。

4資産分散投資のパフォーマンスの運用期間別比較
(データ期間)(2002年1月末~2025年4月末)

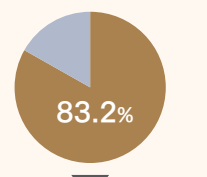


上記シミュレーションは、国内外の株式・債券の4資産に均等投資し、1年間、5年間、10年間運用した場合の騰落率の推移を示したものです。また、ゴール・サポーターが投資対象とする「国内リート」は含んでおりません。運用コスト等は考慮していません。2020年末であれば、2020年末までの過去1年間、5年間、10年間運用を行った場合の騰落率を示しています。上図はシミュレーションの結果であり、実際の運用成果とは異なります。また、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。使用した指数については、19ページの「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

投資成果が元本を上回った割合



投資成果が元本を上回った割合



投資成果が元本を上回った割合



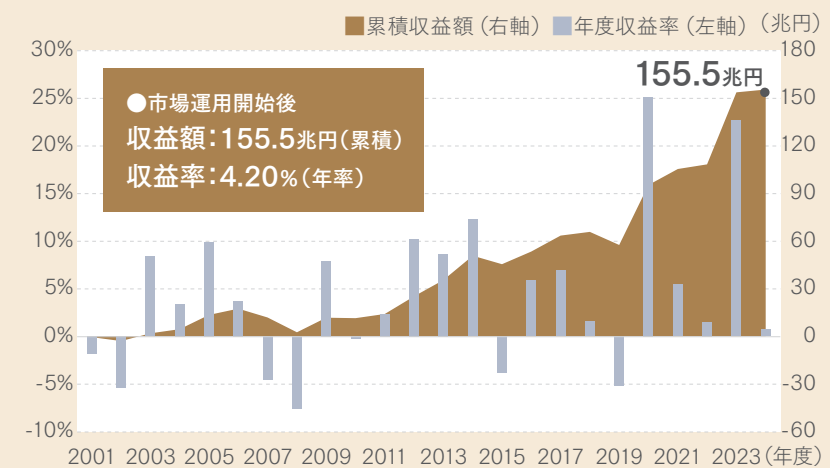
Column

「長期投資」と「分散投資」の実践例

私たちの公的年金を運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)は、「長期投資」と「分散投資」の組み合わせにより、安定的な収益を獲得することを目指しています。

各年度の収益率および累積収益額の推移(2001~2024年度)

市場運用開始後、基本ポートフォリオに基づく「長期分散投資」の実践により安定的に運用収益を積み上げてきました。



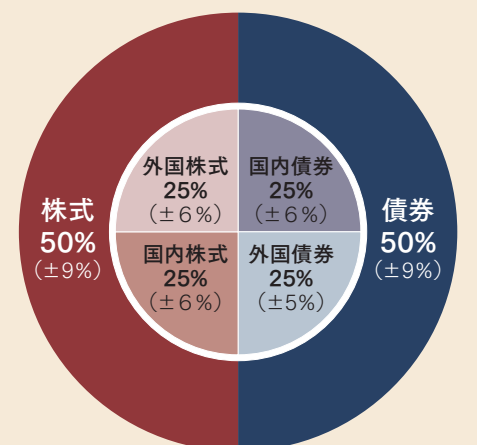
(注1)収益率および収益額は運用手数料等控除前。

(注2)累積収益額は2001年度を起点として算出。

(出所)GPIFデータを基に三菱UFJ信託銀行作成

GPIFの基本ポートフォリオ

長期的な資産運用において効率的で良好な結果を得るため、GPIFは基本ポートフォリオを定め、長期的に維持し運用しています。



(注1)円グラフ内は2025年4月1日以降のGPIF基本ポートフォリオ。カッコ内はかい離許容幅。

定期的なレビューを通じ、運用の進捗状況やお客様のライフプランの変化に応じて、資産運用プランの見直しをご提案いたします。

アフターフォロー計画

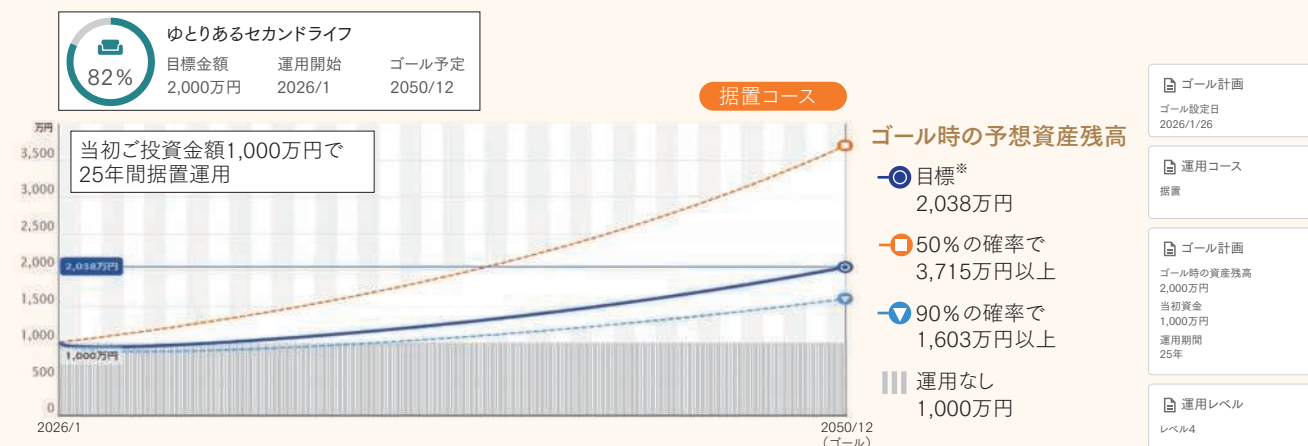
お客様とご相談しながらアフターフォローのスケジュールを決めます。

アフターフォロー計画の一例



ゴールまでの進捗状況

目標までの進捗状況を共有いたします。



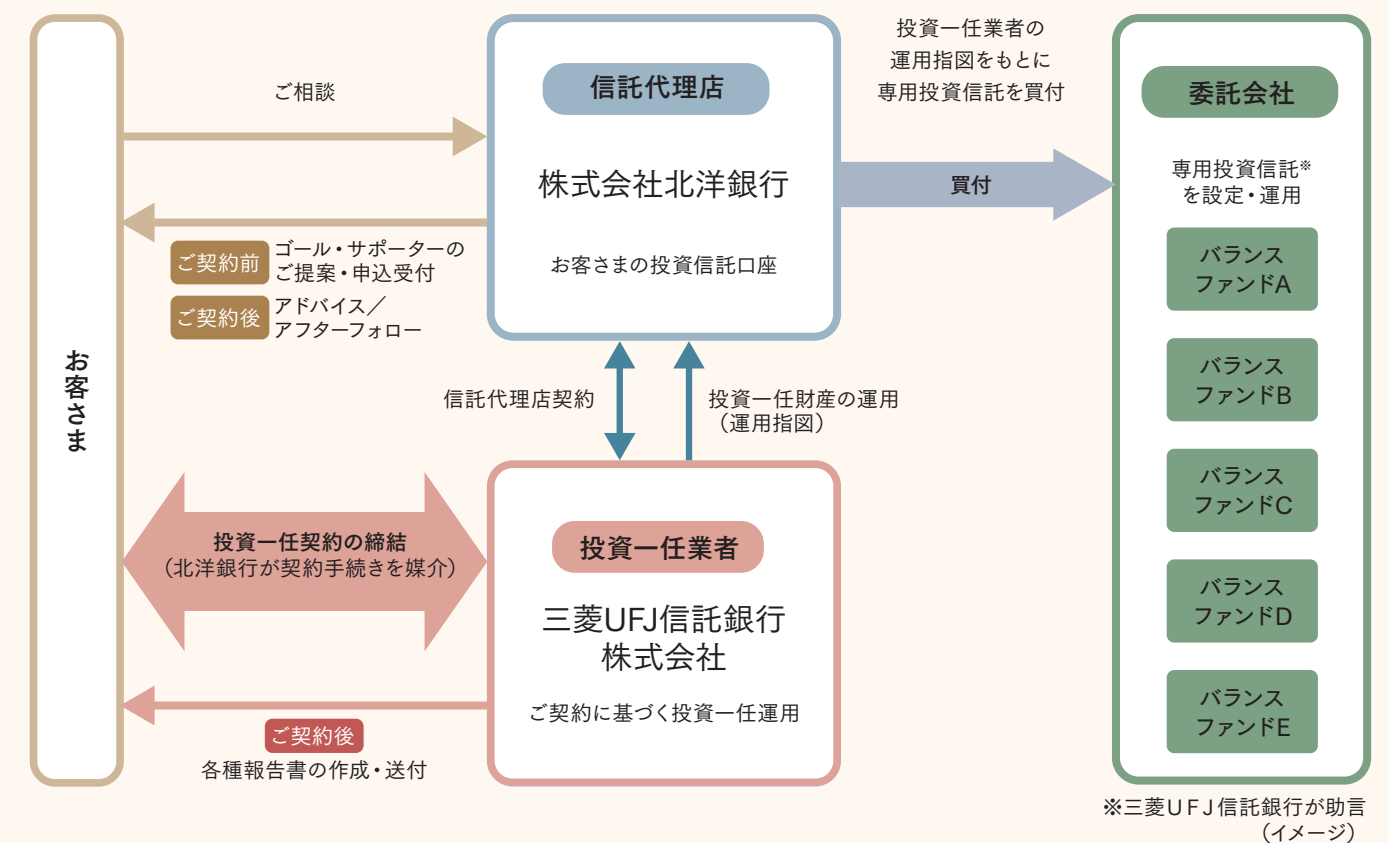
ゴール一覧

ゴール毎に管理を行います。状況の変化に応じて、ゴールの追加・見直しをご提案いたします。

ゴール・サポーターのしくみ

ゴール・サポーターは投資一任契約に基づき、運用レベルのご提案、資産の運用、運用状況のご報告までをトータルでご提供する資産運用サービスです。お客様へのコンサルティングを通じて、お客様に適した資産運用をご提案いたします。

- ゴール・サポーターは、三菱UFJ信託銀行が投資一任業者としてご提供する投資一任運用サービスです。
- 北洋銀行は信託代理店としてお客様と三菱UFJ信託銀行の投資一任契約締結の媒介を行います。
- お客様の契約の相手方は北洋銀行ではなく投資一任業者である三菱UFJ信託銀行です。
- 投資一任業者は、お客様の投資信託口座(北洋銀行に開設)において、投資一任財産の運用を行います。
- 投資一任業者の運用指図をもとに買付する専用投資信託は、三菱UFJ信託銀行が助言を行う1本のバランスファンドです。



投資一任契約とは

- 投資一任契約とは、投資運用業を行う金融商品取引業者等がお客様から有価証券の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき、お客様のため投資を行うのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。
- ゴール・サポーターでは、お客様と三菱UFJ信託銀行との間で投資判断の全部を一任する投資一任契約を締結していただきます。
- 契約締結後は、三菱UFJ信託銀行がご契約内容に基づいて、投資一任財産を運用いたします。
- 三菱UFJ信託銀行は、投資一任財産に関する運用報告書を3・6・9・12月末基準および契約終了日基準にて作成し、お客様に交付します。
- 北洋銀行の担当者より定期的な運用のご報告を行います。
- 運用による損益は、すべてお客様に帰属します。

投資一任業者について





会社概要	
社名	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な事業	・信託業務 ・銀行業務 ・不動産売買の媒介・証券代行等の併營業務 ・登録金融機関業務
登録金融機関 登録番号	関東財務局長(登金)第33号
主な加入協会	・日本証券業協会 ・一般社団法人金融先物取引業協会 ・一般社団法人日本投資顧問業協会

北洋銀行 資産運用サービス ゴール・サポーターの概要

サービス名:北洋銀行 資産運用サービス ゴール・サポーター 新規契約		
販売対象	個人のお客さまが対象です(未成年、非居住者の方はお申込みいただけません)	
契約形態	投資一任契約(ご契約に際しましては、お客さまと本サービスの投資一任業者である三菱UFJ信託銀行が契約の当事者となります)	
当初契約金額(一括投資)	300万円以上1円単位	
契約期間	1年～50年	
契約締結日	原則、契約申込日から起算して3営業日目の日 ※15ページの「各取引の申込日から投信約定日および代金受渡日までのスケジュール」をご参照ください	
運用開始日(運用指図日)	原則、契約締結日から起算して6営業日目の日(※1)	
運用レベル	運用レベルは、期待リターン・リスクに応じて、5段階(レベル1～5)に分かれています	
契約可能件数	お客さまのゴールごとに、最大10契約まで(ゴール1つに対し1契約)	
投資対象	国内公募投資信託 ※本サービス専用に設定された複数の投資信託の中から、投資一任業者が運用レベルに応じて最適と考える1本の投資信託へ投資を行います ※本資料の作成時点においては、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社が設定・運用する専用投資信託を投資対象とします。なお、本投資信託の投資対象資産・資産配分については三菱UFJ信託銀行が助言を行い農林中金全共連アセットマネジメント株式会社より助言報酬(年0.002%)を収受します。ただし、今後、投資一任業者の判断により、投資対象が変更される可能性があります	
運用コース	以下の4種類の運用コースからお選びいただけます ①据置、②積立、③据置・引出、④積立・据置・引出 ※くわしくは、14ページの「4種類の運用コース」をご覧ください	
	積立投資の設定	毎月 1万円以上1円単位(積立投資を設定いただくには、別途、当初契約金額(一括投資)が必要です) ・積立期間は1年以上とし、積立投資に係る契約締結月の翌月20日(※1)から開始。以降、毎月積立日は20日(※1)です ボーナス月 1万円以上1円単位 ・ボーナス月におけるボーナス時積立金額は、毎月積立金額との合算で積み立てられます ・ボーナス月の積立日は20日(※1)です ・指定月は年最大2回まで設定可能です
	定時定額引出の設定 1万円以上1円単位 ・引出頻度は毎月、偶数月、奇数月からご選択いただけます ・毎月10日(※1)を定時定額引出日とし、その日に対象投資信託の売却の注文を行います	

※1 投資対象とする投資信託の申込不可日にあたる場合等、翌営業日以降となることがあります

4種類の運用コース

①据置		②積立		③据置・引出		④積立・据置・引出	
	投資資金を運用期限まで、そのまま運用します		投資資金を積立運用します		投資資金を運用しながら、ある時点から定期的に一定金額を取崩しながら運用します		投資資金を任意の期間毎に積立・据置・引出に分けて運用します

ご契約内容の変更	
契約の追加・解約	毎営業日申込可能
運用コースの変更	毎営業日申込可能
	積立投資の追加・変更・解除
	定時定額引出の追加・変更・解除
契約金額の増額・減額	1万円以上1円単位で毎営業日申込可能
運用レベルの変更	毎営業日申込可能 ※18ページの「運用レベルの変更についてのご留意事項」をご参照ください

その他	
特定口座	特定口座(源泉徴収あり・源泉徴収なしともに)のお取扱いが可能です
少額投資非課税制度(NISA)	非課税口座(NISA口座)は成長投資枠(特定非課税管理勘定)のみを利用することができます
全解約または一部解約(※2)	・毎営業日申込可能 (変更契約締結日から起算して6営業日目の日を運用終了日(※1)とします) ・本契約が解約された場合、当社は速やかに投資一任財産に属する投資信託の受益証券の換金手続きを開始し、原則1ヶ月以内に換価代金をお客さまの普通預金口座へ返還します
運用報告	運用報告書(お客さまの運用開始時期に関わらず、3、6、9、12月の末日基準で四半期の運用状況報告)を発行します ※ゴール・サポーターの運用報告書に記載される残高は、信託代理店より発行される「取引報告書」および「取引残高報告書」に記載される残高と異なる場合があります

※1 投資対象とする投資信託の申込不可日にあたる場合等、翌営業日以降となることがあります

※2 非課税口座(NISA口座)・課税口座の両方を利用している場合、課税口座の解約または換金が優先されます。また、一部解約(含む、定時定額引出)による換金予定額の1.25倍の金額が、投資一任財産の時価評価額を上回る場合には、投資一任財産全額が解約されます。くわしくは、18ページの「一部解約時のご留意事項」をご参照ください

●少額投資非課税制度（NISA）の概要

少額投資非課税制度（NISA）とは、個人の資産形成を応援するため、一定の投資額までの利益が非課税となる制度です。ゴール・サポーターは、本制度の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」を利用することができます。

※信託代理店にてNISA口座を開設する必要があります

	成長投資枠 ※ゴール・サポーターで利用できます	つみたて投資枠 ※ゴール・サポーターでは利用できません
対象者	日本にお住まいの18歳以上の方 （利用する年の1月1日時点）	
制度の併用	可	
非課税対象	株や投資信託などへの投資から得られる配当金・分配金・譲渡益	金融庁が認める一定の投資信託から得られる分配金や譲渡益
投資対象商品	上場株式・投資信託など（※）	長期積立による分散投資に適していると金融庁が認可したファンド
年間の投資の上限	240万円	120万円
非課税保有限度額（総枠）	1,800万円 （うち、成長投資枠の上限は1,200万円）	
非課税保有期間	無期限	
制度実施期間	2024年～恒久化	

※信託期間20年未満、高レバレッジ型、毎月分配型の投資信託などは除外

参考：金融庁 NISA特設WEBサイト

●各取引の申込日から投信約定日および代金受渡日までのスケジュール（原則）

＜新規投資（ゴールの追加含む）・増額＞

1営業日	2営業日	3営業日	4営業日	5営業日	6営業日	7営業日	8営業日	9営業日
契約申込日 （15:00まで）		契約締結日			入金期限	預金引落日	運用指図日 （投信申込日）	投信約定日

＜積立＞

1営業日	2営業日	3営業日 <small>（積立開始月の前月最終営業日まで）</small>		3営業日前 ^{※1}	2営業日前 ^{※1}	1営業日前 ^{※1}	毎月20日	1営業日後 ^{※1}
契約申込日 （15:00まで）		契約締結日	㊞		入金期限	預金引落日	運用指図日 （投信申込日）	投信約定日

※1 毎月20日の積立日を基準日としております

＜減額・解約（ゴールの削除含む）＞

1営業日	2営業日	3営業日	4営業日		7営業日	8営業日	9営業日		13営業日
契約申込日 （15:00まで）		契約締結日		㊞		運用指図日 （投信解約申込日）	投信約定日	㊞	減額・解約代金受渡日 （入金）

（注）解約の契約申込日から起算して投信約定日は最短で9営業日目となるため、市場環境によっては解約申込時点の時価評価額と実際に入金される金額が大きくかい離する可能性があります

＜定時定額引出＞

1営業日 （前月 ^{※2} ）	2営業日 （前月 ^{※2} ）	3営業日 （前月 ^{※2} ）		毎月10日	1営業日後 ^{※3}	2営業日後 ^{※3}		5営業日後 ^{※3}
契約申込日 （15:00まで）		契約締結日	㊞	運用指図日 （投信解約申込日）	投信約定日	残高確定日	㊞	定時定額引出代金受渡日 （入金）

※2 契約締結が月の下旬の場合、定時定額引出は翌々月から開始となる場合があります（定時定額引出日の前々営業日時点で投資対象とする投資信託の残高が計上されていない場合が該当）

※3 毎月10日の定時定額引出日を基準日としております

（注）契約内容に不備があった場合や引き落としができなかった場合等は、上記の限りではありません

【運用指図日（投信申込日、投信解約申込日）に関する留意点】

- ・運用指図日が投資対象とする投資信託の申込不可日に該当した際には、契約締結日より後ろの各スケジュールは翌営業日以降となります。
- ・積立日（20日。休日の場合は翌営業日）は、売り注文の申込不可日になります。そのため「解約」「減額」の場合で、スケジュール上、運用指図日が積立日に該当した際には、契約締結日以降の各スケジュールは翌営業日以降となります。
- ・定時定額引出日（10日。休日の場合は翌営業日）は、買い注文の申込不可日になります。そのため「新規契約」「増額」の場合で、スケジュール上、運用指図日が定時定額引出日に該当した際には、契約締結日以降の各スケジュールは翌営業日以降となります。

費用・税金について

お客さまがご負担する手数料等

●投資一任報酬

投資一任報酬は、投資一任契約に基づく運用およびコンサルティング、アフターフォローに係る対価としてお客さまにご負担いただくものです。ゴール・サポーターでは、投資一任報酬が組入れ投資信託の信託財産から支払われています（信託報酬に内包して支払われます）。

●各運用レベル（ファンド）の信託報酬等

各ファンドの購入時手数料および換金時の信託財産留保額はかかりません。

運用レベル （ファンド名）	合計 （税込）	配分（税抜き、投資対象投資信託の信託報酬として控除）				
		投資一任報酬		委託会社 （農林中金全共連 アセットマネジメント 株式会社）	販売会社 （北洋銀行）	受託会社 （三菱UFJ 信託銀行）
		投資一任業者 （三菱UFJ 信託銀行）	信託代理店 （北洋銀行）			
運用レベル1 （ゴール・サポート・ ファンドAコース）	1.35% （年1.485％）	年0.57%	年0.60%	年0.10%	年0.05%	年0.03%
運用レベル2 （ゴール・サポート・ ファンドBコース）	1.37% （年1.507％）	年0.57%	年0.60%	年0.12%	年0.05%	年0.03%
運用レベル3 （ゴール・サポート・ ファンドCコース）	1.39% （年1.529％）	年0.57%	年0.60%	年0.14%	年0.05%	年0.03%
運用レベル4 （ゴール・サポート・ ファンドDコース）	1.41% （年1.551％）	年0.57%	年0.60%	年0.16%	年0.05%	年0.03%
運用レベル5 （ゴール・サポート・ ファンドEコース）	1.43% （年1.573％）	年0.57%	年0.60%	年0.18%	年0.05%	年0.03%

※上記の配分には別途消費税相当額がかかります

●間接的にご負担いただくその他の費用等

以下のその他費用・手数料については、信託財産の中から支払われます。

- ・監査法人等に支払うファンドの財務諸表の監査に要する費用
- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引・オプション取引等に要する費用
- ・資産を外国で保管する場合の費用 等

監査費用は毎日計上し、毎計算期間末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度信託財産中から支払われます。

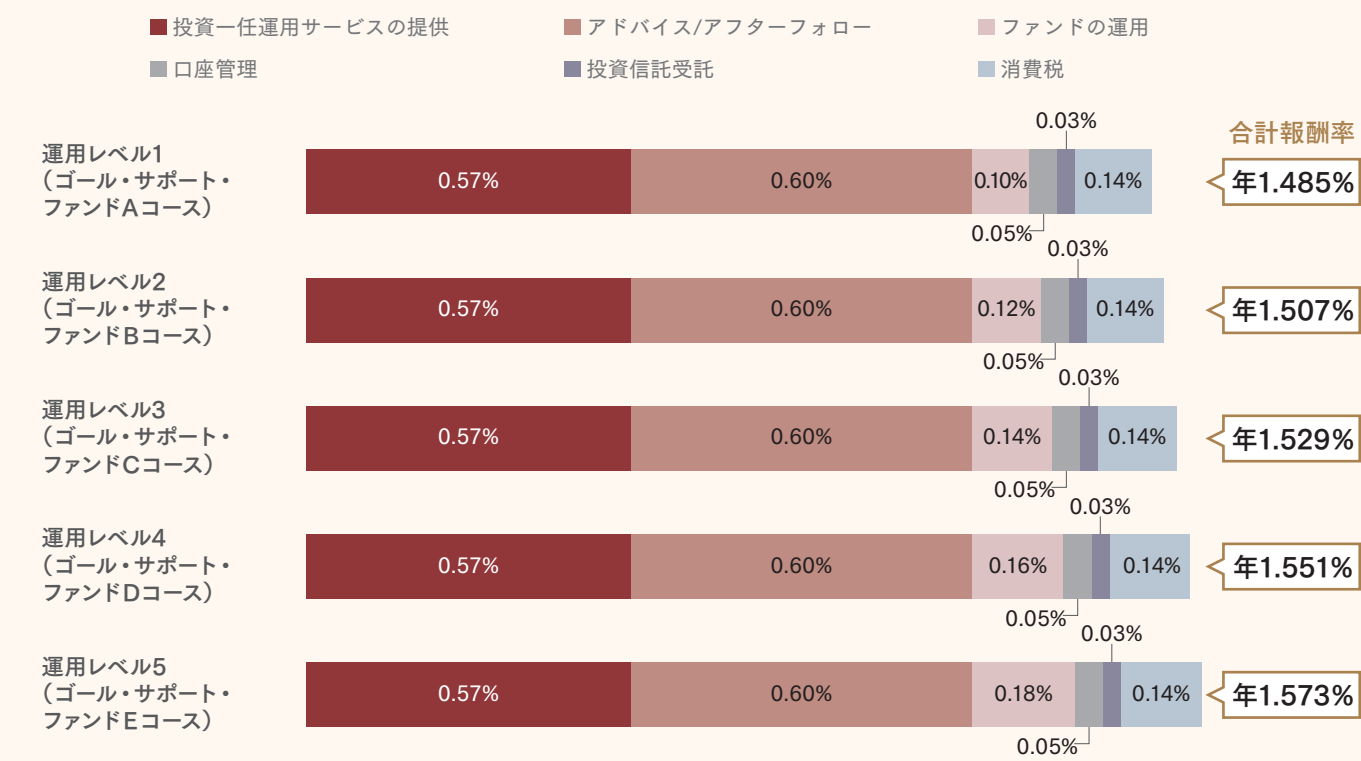
※定期的に見直されるものや運用状況等により変動するものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

●税金について

ゴール・サポーターが投資対象とする各ファンドに係る税金の取扱いについては、一般的な国内公募投資信託と同様です。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

「北洋銀行 資産運用サービス ゴール・サポーター」の対価

ゴール・サポーターの対価の内訳は以下の通りです。



ゴール・サポーターの投資一任報酬は、「各ファンドの信託報酬等」に内包されています。そのため、上記の合計報酬率は16ページの「各ファンドの信託報酬等」に記載されている信託報酬率(税込み)と同率になります。

ゴール・サポーターと投資信託の比較

		ゴール・サポーター	投資信託
商品性		投資一任契約に基づき、運用レベルのご提案、資産の運用、運用状況のご報告までをトータルでご提供する資産運用サービス	たくさんのお客さまから集めた資金をひとつにまとめ、運用の専門家が国内外の複数の株式や債券等に投資・運用する金融商品
投資プロセス		お客さまのご意向に合わせ、投資するファンドを専門家が選択	お客さまご自身の判断で、投資するファンドをお客さまが選択
コスト	購入時	・ありません	・購入時手数料 (購入時手数料はかからない場合があります)
	保有/ 契約期間中	・投資一任報酬 ・信託報酬	・信託報酬
	解約時	・ありません	・解約手数料 ・信託財産留保額 (解約手数料・信託財産留保額はかからない場合があります)

運用レベルの変更についてのご留意事項

投資対象とする投資信託

ゴール・サポーターでは期待リターン・リスク水準の異なる5つの投資信託から、投資一任業者がお客さまのご意向に合わせいずれか一本の投資信託を買い付けます。

【ゴール・サポーター専用ファンド】

ゴール・サポート・ファンドAコース ゴール・サポート・ファンドBコース ゴール・サポート・ファンドCコース

ゴール・サポート・ファンドDコース ゴール・サポート・ファンドEコース

投資信託の運用は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社が行います。投資一任業者がお客さまの資産運用プランとリスク許容度を基本に、適切な投資信託を選定し投資します。

運用レベルの変更

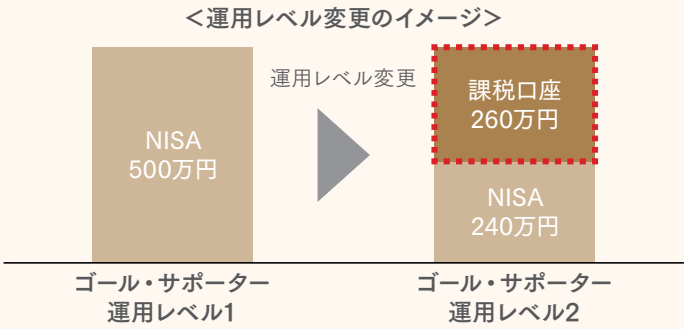
ゴール・サポーターでは、契約期間中にお客さまのリスク許容度の範囲内で、運用レベルの変更が可能です。お客さまが運用レベルの変更を希望する場合、現在投資している投資信託を解約し、期待リターン・リスク水準の異なる運用レベルの投資信託を買い付けます。

- 運用レベルの変更は、保有する投資信託を全額売却し、異なるリスク水準の投資信託を買い付ける取引となります。
- 運用レベルの変更に伴う売買で譲渡益が発生すると、所得税等が源泉徴収される場合があります。そのため新たな運用レベルに基づき新たな投資信託を購入する場合、源泉徴収された後の金額で買い付けを行います。詳細は信託代理店の窓口までお問い合わせください。

NISA口座利用時の例

- NISA口座で保有している投資信託の運用レベルの変更を行う場合、保有する投資信託を全額売却後、新たに買い付けるため、NISAの年間投資枠を超過する運用レベルの変更を行うと、新しい残高はNISA口座と課税口座(特定口座/一般口座)に分かれます。

- 【例】
- 保有残高：NISAで500万円
 - 現時点で今年の年間投資額を使用していない
 - 「運用レベル1」から「運用レベル2」へ変更



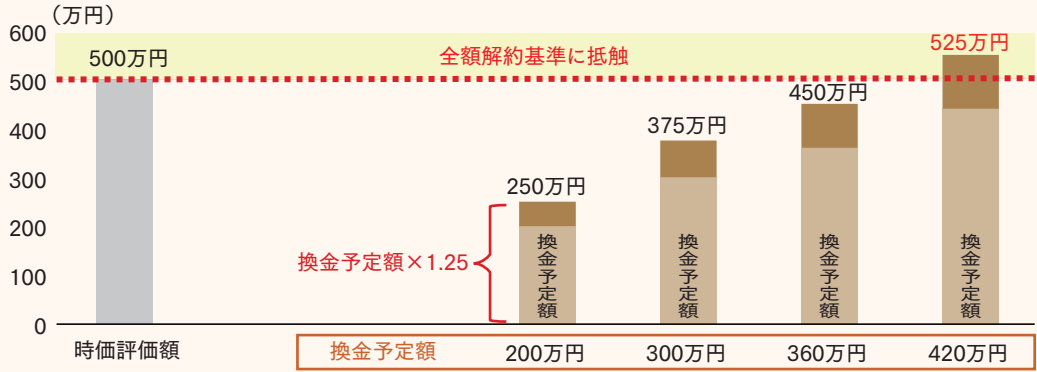
一部解約時のご留意事項

- 一部解約(含む、定時定額引出)による換金予定額の1.25倍の金額が、投資一任財産の時価評価額を上回る場合には、投資一任財産全額が解約されます。
- 投資一任財産の時価評価額は、一部解約申込日ではなく、組入投資信託の解約にかかる運用指図日の前々営業日を基準とするため、一部解約申込後、時価評価額の変動により全額解約基準に抵触する可能性があります。

一部解約と全額解約の判定イメージ

- 【例】
- 投資一任財産の時価評価額：500万円
 - 換金予定額：420万円

換金予定額の1.25倍は525万円となります。
この金額が時価評価額(500万円)を上回るため、一部解約ではなく全額解約となります。



■ ご留意事項について

- ・ゴール・サポーターにおいては、北洋銀行は信託代理店としてお客さまと三菱UFJ信託銀行の投資一任契約（以下、「本契約」という。）締結の媒介を行います。お客さまの契約の相手方は北洋銀行ではなく三菱UFJ信託銀行となります。なお、三菱UFJ信託銀行の判断により契約に至らない場合がございます。
- ・本契約の締結にあたっては、三菱UFJ信託銀行の信託代理店におけるお客さま名義の各種口座の開設手続きが完了している必要があります。
- ・本契約に基づく取引で買い付けする投資信託は、お客さまの投資信託口座で保有および管理するものとします。
- ・ゴール・サポーターにおいては、本契約に基づき三菱UFJ信託銀行が、お客さまのご意向に基づいた運用方針に従い、お預かりした資産の投資一任運用を実施します。本資料の作成時点においては、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社が設定・運用する専用投資信託を投資対象とします。ただし、今後、投資一任業者の判断により、投資対象が変更される可能性があります。
- ・本契約に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

■ リスクについて

本契約に基づき投資するゴール・サポーター専用投資信託は、元本が保証されているものではなく、また、預金保険制度および投資者保護基金の対象ではありません。ゴール・サポーター専用投資信託の基準価額は、それぞれが組み入れた有価証券等の値動きや為替相場の影響を受け変動しますので、これによりゴール・サポーター専用投資信託への投資金額を割り込むことがあります。ゴール・サポーター専用投資信託の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

- ①株価変動リスク
- ②REIT（リート）の価格変動リスク
- ③金利変動リスク
- ④為替変動リスク
- ⑤信用リスク
- ⑥カントリーリスク
- ⑦流動性リスク

■ 当資料におけるご留意事項

- ・当資料は、ゴール・サポーターのご紹介を目的として三菱UFJ信託銀行が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ・当資料の内容は資料作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三菱UFJ信託銀行が信頼性が高いと判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に掲載しているインデックス・統計資料等は、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・当資料に掲載している写真・画像はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

■ QUICKのイメージ図について

ゴール・サポーターの提供にあたり、株式会社QUICKのシステムを利用します。お客さまの資産運用計画のご提案と見直しに際し、株式会社QUICKの「フロントソリューションサービス」で生成したデータ（以下、「データ」）を利用しますが、画面およびデータに関する著作権を含む一切の権利は株式会社QUICKに帰属します。また、「フロントソリューションサービス」は定期的にアップデートを実施するため、本資料の記載事項とご提供サービスが異なる場合がありますので、ご了承ください。

■ 当資料で使用した指数について

国内株式：日経平均株価（配当込み）、国内債券：NOMURA－BPI国債 全体、外国株式：MSCIコクサイ インデックス（配当込み、円ベース）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）、国内リート：東証REIT指数（配当込み）、外国リート：S&P先進国REIT（配当込み、円ベース）

「北洋銀行 資産運用サービス ゴール・サポーター」ご契約のお申込みの際には必ず以下の書類をご確認ください。

- 契約締結前交付書面
- 投資一任契約約款

お問合せ先について

北洋銀行ゴール・サポーターお取扱店
北洋銀行ゴール・サポーターお取扱店の営業時間等は、北洋銀行ホームページをご確認ください。
北洋銀行HP：<https://www.hokuyobank.co.jp/>

三菱UFJ信託銀行（ゴール・サポーター専用ダイヤル）
03-4330-1416 ご利用時間：平日9:00～17:00（土・日・祝日等を除く）

GOAL SUPPORTER

北洋銀行 資産運用サービス  ゴール・サポーター 

信託代理店



商号等: 株式会社北洋銀行
登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号
加入協会: 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

ご契約・運用



商号等: 三菱UFJ信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号
加入協会: 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会



作成基準日: 2025年10月末